

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 11 月 1 日（日）

開会：午後 3 時 30 分 閉会：午後 5 時 02 分

場所：大木集落センター

参加者：男 46 人、女 15 人 計 61 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課長、町民課長、政策課員

《 懇 談 》

男性 以前住宅を購入すると 40 万円ほどもらえるという制度があったのですが、あれはどうしてなくなったのでしょうか。人口は増えるし、町としても固定資産税が入ってくるし、いい制度だと思うのですが。

町長 3、4 年前までそういう制度がありました。なぜなくしたかと言われてましたが、まず一つはお金を配るのではなくて、政策の中でお金を使っていこうということで、若い人に入らせていただくための、子育て支援に使っています。それと、当時入ってくる人に対して、アンケート調査をしたら、その補助金が決め手になったという率がすごく少なかったんです。それがなくても、東員町は子育て支援が充実しているから東員町へとか、あるいは、震災がありましたよね、あれから海岸線は危ない、東員町は比較的安全だということで入ってきていただいています。

その制度がなくなったのが平成 24 年度ですが、平成 23 年度に、若い 40 歳未満の方で東員町へ入ってきていただいたのは、580 人くらい、平成 24 年度が 575 人、制度がなくなった後の 25 年度は 643 人、26 年度で 634 人ということで、実は増えています。ある学者の理論によると、その地域の人口の 1%に相当する若い人の移住があると、その地域は維持できるといいますが、東員町の場合、2.5%~3%くらいの流入があります。我々としては、東員町に入ってきていただいた時に、入ってきて良かったと喜んでもらえる政策をしたいと考えて、移住の時のお金はなくし、逆に 5 歳の幼稚園保育料の無料化とか、待機児童を出さないように保育士の確保などの政策に、力をいれるようにしていますので、ご理解いただければと思います。

男性 よくわかりました。それからもう一つ、人口問題で余剰金が 6 億もあるのですから、結婚した時に祝い金を出すとかはいかがでしょうか。そうすると人口も増えるのではないのでしょうか。子どもができた時に出産祝い金を出したら人口が増えると思うのですが。

町長 出生祝い金も、入学祝い金もなくなりました。これもお金を配るのではなく、政策の

中でお金を使い充実させたいということなのですが、今、お金が6億も余っているならばと言われましたが、余ってないんです。財政課長から平成26年度は6億8千万円の繰り越しができましたと言いましたが、その前に平成26年度に25年度からの繰越金7億円をつぎ込んでいますので、2千万円のマイナスなんです。この6億8千万円は平成27年度の予算の中へ繰越金として入れています。例えば、突然道路が陥没したとしますと、当初予算だけでは直せないんです。そういう時にこの繰越金を使って直す、こういうことがいっぱいあるので、繰越金を残しておかないと財政が回らないのです。完全に余っているお金であれば使えますが、なかなかそういうお金ではないので、ご理解をいただきたいと思います。

今はお金を配るのでなくて、政策の中で子どもを安心して育てられるようなことを考えて、行政運営をしていますのでご理解をいただければと思います。

男性

今年4月からこちらの方に越させていただきました。もともとは大阪なんですけど、私が住んでみたイメージとしては、街灯が少なく、歩いているとやはり怖いなどいうのがあります。それと公共交通機関、皆さんは車が普通と思っていますけれど、前住んでいた大阪は普通にバスや電車があって便利なので、そういった公共交通機関が不足していると思います。高齢化が進んでいて事故があつたりして危ないという側面もあると思いますので、バスなどを充実してもらえたらなと思います。妻は正直ペーパードライバーで困ってしまっていて、仕事をしたくてもこの辺だと職が少ないですから、どうしても名古屋とかに行きたいのですが、交通面で二の足を踏んでいるところもあります。ただ、子育ての面は充実していて、満足していますが、そういったところが充実したら、もっと過ごしやすいついていますので、ぜひお願いしたいなと思います。

町長

今の点は色々なところで指摘を受けるところです。光が少ないのは、よく月が出ている時は良いけどなど言われますけど、できるだけ防犯灯を増やしていきたいとは思っていますが、財政との相談もありますので、一気にすることはできないということもあります。

公共交通については、限られた財源のなかで北勢線という電車に補助をしているのと、オレンジバスを巡回させています。これについては、走らせているのはいいけれど、たくさん乗っていただくところと、空気を運ぶところとはっきり分かれています。昨年、交通空白地にもバスを走らせようとルートとダイヤを変えたのですが、この大木地区も交通空白地だったんですけど、ダイヤを変えたら、遅くなったとか本数が減ったとか苦情がでています。今まで乗っていたところが不便になったという苦情がほとんどですが、なかなかこういう交通空白地域へ走らせても乗っていただけない状況もございます。ですから、住民の皆さんと一緒に真剣に考えて、できるだけ皆さんに便利な方法、安くできる方法を考えていきたい。お金を出せばいくらでもできますが、これから高齢者が増え社会保障費が増えていく、健康保険料が高くなるとな

っていくわけなので、どこへお金を使うのかということもあります。オンデマンドと
いって、電話をもらい迎えにあって、町内であればどこへでも行くというシステムも
研究していますが、特にバスがいっぱい走っているところだと、なんでバスをやめ
てそんなことをするのかという話もあり、なかなか難しいんです。大阪と田舎とは違
うところがありますので、申し訳ないですが、ぜひこんなふうにしたらなど、お知恵
をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

男性

バスについては、笹尾から出ている名古屋までの直通バスが非常に便利だと思いま
すので、大木から笹尾に車を使わなくてもアクセスできるといいと思います。一番い
いのは、大木から名古屋へ直通でいけばいいんですけど、なかなか難しいと思っ
ていますので。

男性

自治会のあり方についての要望ですが、大木自治会の一つの特徴として、町営住宅
があるということがあります。町営住宅の方で自治会に入られている方と入られてい
ない方で不公平感があります。今年、木村自治会長さんはじめ、入っていない方に自治
会に入っていたきたいと説明会を開催したんですけど、その説明会にも集まって
いただけないという現状があります。そもそも町営住宅に入居していただく際に町側
の説明が不十分だったという話もあり、自治会に入るのは義務ではないですが、説明
不足のために、自治会に入られた方と入られてない方の不公平感があるという現状が
ありますので、町としても真摯に受け止めていただいて、お知恵を拝借していただき
たい。ぜひご協力いただいて、町営住宅の今の不公平感を解消していただく策をご提
案、ご協力していただきいと思っております。

町長

今自治会未加入は問題になっているところもあります。例えば転入される時には、
必ず自治会加入のご案内をさせてもらっています。強制することはできませんので、
ご案内としてさせていただきます。ただこれは自由意思なんですよ。今何が問
題になっているかという、おっしゃられたこともそうですが、今東員町は、配布物
を自治会にお願いして配布しています。ところが、自治会未加入者のところへは配布
物がいかないところもあります。届けていただいているところもありますが、届けて
もらえない自治会もありますので、我々行政としては、公共サービスはすべて公平に
しなければならないというところがあります。このお知らせなどの配布物をどうする
のが課題になっています。自治会にお願いするのをやめてこちらで直接やるかとい
うのもあるんですが、これは、今までずっと自治会さんをお願いしていて、自治会加
入促進を含めてやっていただいていますので、自治会未加入者が増える可能性もある
し、もっと問題が生じてくる可能性があります。

これからの地域づくりとして、高齢者が増えてきます。一人暮らしの高齢者も増え
てきます。そうしたときに誰が見守るかという、地域のコミュニティーでやってい
ただかないといけないという問題があります。非常に微妙な問題ですので、我々も真
剣に考えていて、自治会長会役員会でも話をさせていただきましたが、自治会と一緒

になってこの問題をもう一度考えてほしいとお願いをしているところなんです。我々も努力させていただきます。自治会さんも何とか前向きにご協力いただきますようお願いいたします。

男性

実は我々同級生を中心に、東員町が大好きだという人間で、「東員町勝手に観光協会」という団体を作っています、その中で、町長もおっしゃっていましたが、東員町に特産品がないとか、そういったことを仲間同士で考えようと取り組んでいるのですが、一つ質問なんです、今パークレジデンスの近くをシグマサポートですか、農地を契約されて使ってみえるという話がありましたが、そのあたりを我々がお借りすることはできるのでしょうか。

町長

おそらくパークレジデンスの横はもうほぼ使っています。またほったらかしになると、耕作放棄地に戻ってしまいますので、あそこの活用を真剣に考えて、今やっと、障がい者の農業に落ち着いたなと思っています。ただ、耕作放棄地までいかないけれど、その手前の土地はあります。今おっしゃられたことであれば、我々としてもご相談いただきながら、借りられる農地をぜひ作り出して、みんなで活用していただく。そして生産が上がって、東員町として良いものが出来て売りになるならば、我々としてもご協力させていただきます。ぜひ相談に来ていただきたい、よろしく願います。

男性

なぜパークレジデンスの横かというと、温泉を坂口化学さんがやってみえると思うのですが、普通の植物を生産してもあまり売れないんじゃないかということで、私、奥飛騨の方まで研修に行きました。アイスクリームバナナという耐寒性の強いバナナがあるんですが、庭で春先に植えて今3メートルくらいになりました。バナナも普通の味じゃなくて、バニラとバナナを混ぜたような味でおいしいですので、温泉の排水を利用して、地熱で温められたらと思いましたので、あそこに場所を特定してご質問させていただきました。

町長

以前、温泉の調査をしていただいたことがあります。東員町は、何メートル掘るかとは別ですが、どこを掘っても50度近くの温泉は出ますということは言われています。必要な時には、そういうこともあり得るかなと思っています。ただ、以前、温泉が出たら入浴施設を作って何かやったらどうかという検討をしたそうですが、持ち出しが多すぎて割に合わないという結果になったらしいです。

これは行政が手を出すのではなく、民間の方が手を出してくれれば、確約はできないですが、温泉を掘るだけは行政がしてもいいのではと思います。ただ、そこで誰かが施設を作ってきちんとこういう計画でこんなことをやるよというものがないとかなか難しいですが、アイデアがあればぜひ相談に来てください。